

茶園におけるモラン・鯉エキスの施用効果について

使用者	菊川市自園自製自販農家
茶園所在地	菊川市若宮、25a
施用内容	10aあたりモラン50kgを3000Lに希釈し、根元に散布した。平成17年6月～18年4月に4回散布を行った。 平成17年8月に鯉エキスの500倍液を新梢枯死症の薬剤と混合し、散布した。(1回目)平成18年春に鯉エキスの500倍液を葉面散布した。(2回目)
収量	一茶：600kg/10a (平成18年4月26日) 二茶：1000kg/10a (平成18年6月12日)
品質：	一茶、二茶とも柔らかく、特に二茶は1000kgの収量にもかかわらず、こわくはならなかった。
感想：	上記施用内容はすべての畑(400a)に行ない、特に今まで成績の悪い対象茶園畑に顕著に効果が現れた。 全体的に芽数が多くなり、葉色が際立っていた。コストは10a当たり約19000円掛かったが、収量、販売単価で十分採算はとれる。 新梢枯死症に農薬に鯉エキスを混合して散布した効果には驚いた。



茶園にモラン、鯉エキスを勧めします。



モ ラ ン	散布量：モラン50kg/10a
	希釈率：30倍以上
	施用期：9月、10月、11月に1回づつ
鯉 エ キ ス	方 法：根元にポンプで散布
	散布量：鯉エキス 500mg/10a
	希釈率：500倍以上
	施用期：秋2回、春1回
	方 法：防除と混用し、葉面散布